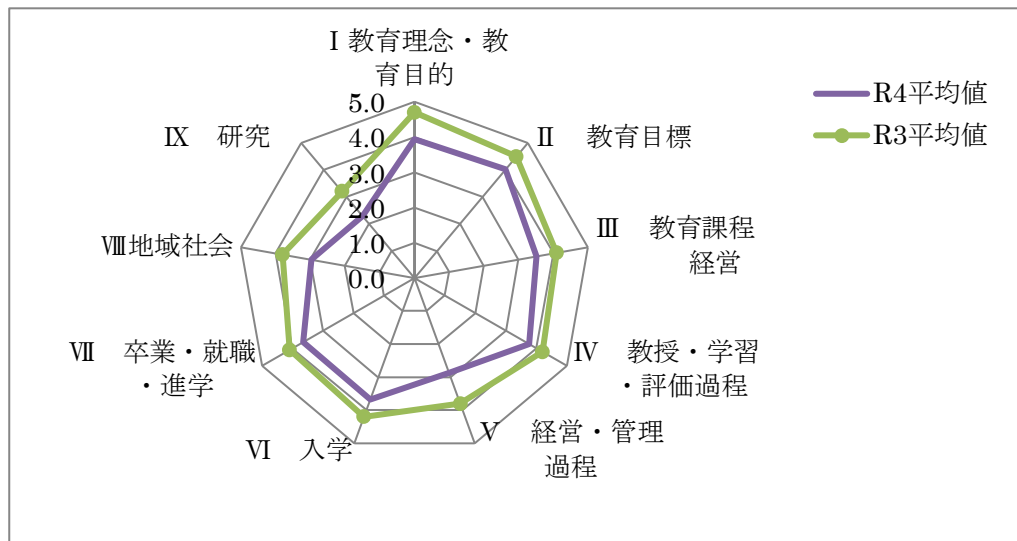


令和4年度土浦看護専門学校の学校評価

土浦看護専門学校の教育理念・教育目的は、「徳育」を教育基盤と捉え地域に根差して活躍できる心豊かな質の高い看護師育成を目指しています。この教育理念に基づく教育水準の維持・向上を図るため、平成26年度に第1回卒業生を出したことを機に、学校運営評価を実施しています。

評価は「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」を基に、9領域109項目で構成され、5「非常に当てはまる」、4「当てはまる」、3「どちらともいえない」、2「当てはまらない」、1「非常に当てはまらない」の5段階で評価しました。

令和4年度の学校評価は以下の通りでした。



令和4年度の学校評価は、全ての項目において評価が低下した結果となりました。

「I教育理念・目的」では、今年度よりカリキュラムが新しくなりより実践的で現代社会の特性にあった看護が求められます。その内容に対し教育理念・目的があていない点があることや、実際に運用しての問題点が見られたことが要因と考えます。そのため、国の指針と整合性のある理念と整合性を定めていく必要があると考えます。

「II教育目標」では、新カリキュラムを実際に運営し、運用面での問題があったと考えられるため、今後問題点を確認し、修正していきたいと考えます。

「III教育課程」では、コロナ禍により学生の実践体験の保証が困難な状況にあったことや、感染対策のためオンライン授業への対応等で教員の業務量の増大が続き、自己研鑽できる環境が整っていなかったこと等が要因と考えます。実習に関しては、病院・施設に対しての働きかけを積極的に行っていき、業務量については職場環境の改善に取り組んでいきたいと考えます。

「IV教授・学習・評価過程」では、新カリキュラムの運用が始まりましたが、初年度のためカリキュラムへの理解度が教員・学生共に十分ではなかった点が要因と考えられるため、カリキュラム委員会等で振り返り改善策を考えていきます。

「V経営・管理」では、昨年より新管理者となり、組織体制が大きく変わっているため、学校運営に影響が出ていると考えます。そのため今後については、理事長・校長と教職員が相互理解し、

学生が学びやすい環境を整えていけるよう協働していく必要があると考えます。

「Ⅵ入学」では、出願率の低迷している現状があるため、入学者選抜の方法や募集方法について検討していくなどの見直しが必要であると考えます。

「Ⅶ卒業・就職・進学」では、実習病院以外へ就職した学生についての状況把握が十分にできない現状があるためと考えます。今年度も、学校主催の就職説明会がコロナ禍により開催できなかったため、再開について検討していく必要性があると考えます。

「Ⅷ地域社会」では、今年度も地域での活動が、コロナ禍により、行うことが出来ませんでした。そのため今後は、地域社会の特色を資源として教育活動へ活用していけるよう工夫していく必要があると考えます。

「Ⅸ研究」では、教員たちは研修や学会へ主体的に参加していましたが、昨年同様コロナ禍において参加が困難となった影響と考えます。各教員が教授活動の傍らでも自己の研究に取り組めるよう、意識づけを行い、今後も研究活動ができるよう支援を続けていきたいと考えます。

評価項目		評価の概要
I	教育理念 教育目的	・自己中心的な考え方をする人が増えつつある昨今、こうした理念を大切にしていきたい ・カリキュラムの変更等もあり維持していくことが大変であると考えます ・生徒の実情に合った教育が望まれます。先生方の努力によって素晴らしい学校ができると信じています,今後に期待します
II	教育目標	・目標としては大変理想的と思われるが、人間性が磨くのに時間が掛かっている
III	教育課程経営	・本校に限った話ではないが、国からの過大な要求に少ないマンパワーで応じる実態がある ・コロナの影響での講義、実習の対応は困難であったと思う。働きやすい職場環境にしていくべきと思います ・コロナ化もあり、オンラインなどの対応、実習の対応日々忙しく授業準備などもあり大変だと思います
IV	教授・学習 評価・過程	・非常勤講師間の連携などはなかなか容易ではないが、学校としては力を尽くしている方だと思う ・人員不足により、協力体制が整えられていないと思われるため、人員不足を解消し、授業や指導が複数で行えるようにしていくべきと思います
V	経営・管理過程	・時代の変化に伴い様々な媒体での広報活動にもう少し力を入れてはどうか
VI	入学	・少子化で致し方ない所だが、医療の重要性を(先ず国が)訴えていくべきだろう ・出願者が少ないことに関して、通学をしにくい等の意見を聞いたことがある。駅⇄学校間の進学バスなど通学しやすい方法の検討はどうかと思います。
VII	卒業・就職 進学	・多くの人材を供給し続けている ・実習病院を増やすことが出来ると就職先も増え、情報収集や卒業後の活動状況も把握しやすいと思います
VIII	地域社会	・コロナの関係で、活動が制限されたことも一因かと思われる ・清掃など地域のために何か行っていこうという姿勢はいつも考えているように思います。活動することで学校のPRにもなると思います
IX	研究	・なかなか多忙な中、難しいことだとは思いますが、近年NET参加の研修会も増えているので、参加を応援したい ・教員が向上心を持つことで、授業や指導に繋がり学生の意欲や向上心に繋がると思います。

